

入院診療計画書

※原本の用紙サイズは指定しないが、入院届に添付する用紙サイズはA4とする。
※赤字については記載例

入院患者氏名 _____ 様

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

病棟（病室）			
主治医以外の担当者名	職種	〇〇〇	治療に携わる担当者の職種と氏名(フルネーム)を記載。記載する欄の数については各病院で調整可。
選任された退院後生活環境相談員の氏名	氏名		職種
症状			
病名 (他に考え得る病名)	#1	病名	
	#2	病名	
治療計画	#1	〇〇〇	入院期間はいずれかにチェック。 ◇記載上の留意点◇ ・退院支援委員会の開催時期を明確にするため、入院期間の記載方法は以下の通りとする。 ①特段の理由がない場合は、原則として1年未満の期間を具体的に「〇ヶ月」と表記。 ②入院期間が1か月に満たない場合は週単位で表記。
	#2	〇〇〇	
検査内容及び日程	<input type="checkbox"/> 血液検査	<input type="checkbox"/> 胸部X線	
	<input type="checkbox"/> 心電図	<input type="checkbox"/> 頭部CT	
	<input type="checkbox"/> その他（		
手術内容及び日程	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり（	
推定される入院期間 (うち医療保護入院による入院期間)	<input type="radio"/> 〇	<input checked="" type="checkbox"/> か月	◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ 心身のケア、生活リズムの調整、服薬管理 等
		<input type="checkbox"/> 週間	
特別な栄養管理の必要性	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり	◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ リハビリテーション等に携わる職種が記述式で記載。記載する欄の数については各病院で調整可。 ◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ 退院後の社会生活に応じた作業療法 等
その他 ・看護計画 ・リハビリテーション等の計画	看護計画		◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ 病識習得、家族を含めた環境調整、福祉サービス等導入 今後想定される多職種や地域援助事業者との関わり等
	リハビリテーション等の計画		
退院に向けた取組	職種	〇〇〇	◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ 退院後の社会生活に応じた作業療法 等
	職種	〇〇〇	
総合的な機能評価 ◇	◇記載上の留意点◇ ・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。 ◇記載していただきたい内容◇ 病識習得、家族を含めた環境調整、福祉サービス等導入 今後想定される多職種や地域援助事業者との関わり等 ◇記載ポイント◇ ・記載にあたっては、患者や家族と面談し、意向を踏まえること！ ・患者の「自己決定」と「エンパワメント」を大切に、患者や家族が内在している力を十分に発揮できるような環境を整えていく取組を意識する。 (例) 退院に向けた目標 患者や家族に取り組んで欲しいこと 等		

患者にとって、分かりやすく簡潔に記載。

治療に携わる担当者の職種と氏名(フルネーム)を記載。記載する欄の数については各病院で調整可。

入院期間はいずれかにチェック。
◇記載上の留意点◇
・退院支援委員会の開催時期を明確にするため、入院期間の記載方法は以下の通りとする。
①特段の理由がない場合は、原則として1年未満の期間を具体的に「〇ヶ月」と表記。
②入院期間が1か月に満たない場合は週単位で表記。

栄養障害がある場合は必ずチェック

メディカルスタッフが記載する。

退院後生活環境相談員もしくは精神保健福祉士が記載することが望ましい。

◇記載上の留意点◇
・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。
◇記載していただきたい内容◇
心身のケア、生活リズムの調整、服薬管理 等

リハビリテーション等に携わる職種が記述式で記載。記載する欄の数については各病院で調整可。
◇記載上の留意点◇
・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。
◇記載していただきたい内容◇
退院後の社会生活に応じた作業療法 等

◇記載上の留意点◇
・患者の個別性を重視し、出来るだけ具体的に記載。
◇記載していただきたい内容◇
病識習得、家族を含めた環境調整、福祉サービス等導入 今後想定される多職種や地域援助事業者との関わり等
◇記載ポイント◇
・記載にあたっては、患者や家族と面談し、意向を踏まえること！
・患者の「自己決定」と「エンパワメント」を大切に、患者や家族が内在している力を十分に発揮できるような環境を整えていく取組を意識する。
(例) 退院に向けた目標
患者や家族に取り組んで欲しいこと 等

注1) 病名等は、現時点で考えられる
注2) 入院期間については、現時点
注3) ◇印は、総合的な機能評価を

(主治医氏名) 〇〇〇 印

(本人・家族) 〇〇〇

説明した相手に署名をもらう

いずれかに〇をつける。
※本人・家族以外の場合は続柄を記入する